

重点取組名	地域と連携した女性の社会参画への支援と体制強化
普及活動担当	井之本 浩美 岐阜県飛騨地域農業改良普及センター TEL:0577-33-1111、c24909@pref.gifu.lg.jp
主要な活動地域・対象農業者	飛騨管内の女性起業組織、女性農業経営アドバイザー、女性農業委員、各地域のリーダー志向女性農業者
取組結果・成果 <取組みのねらい>	<p>1) 女性起業組織に対する巡回指導および販売支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別組織の巡回による販売・流通目標設定や経営分析相談は、かわい野草茶研究グループ、すずしろグループについて実施した。 かわい野草茶研究グループは販売数量・金額とも低下しているため、試飲のできる機会を多くとらえることで広く周知することを徹底した。すずしろグループは、目標の販売数量は10tだが、近年7tであるため商品の品不足が問題であり、需要に応えるための商品の量生産に努力する必要があることを周知した。 ・飛騨・下呂地域の女性起業組織のネットワーク「ひだあねさ特産グループ」会員の自主的な企画・運営のもとで、JA祭りや関市、高山市内ショッピングセンターで「ひだあねさ手作りフェア」と称し、各グループの商品を販売した。 ひだあねさ手作りフェアでは、延べ10日間開催し、13組織が参加、90点以上の商品が販売された。売上は関市で25万円、高山市で130万円と過去最高となった。また、他組織の商品のパッケージやデザイン、内容などが参考になり、消費者に商品をPRする場が出来て評価を確認できたこと、売れ筋商品や値ごろ感など販売のノウハウが体験できたこと、他組織との交流が出来て連帯意識が高まったことなど、今後の起業活動のための知識や技術が身に付いた。 ・今年度初めてひだあねさ特産グループは、2種類のセット商品を久々野郵便局で、チョイスするセット商品を飛騨国府特選館「あじか」で販売した。 久々野町郵便局でのセット商品は、3,300円と4,000円（送料込）の2種類を約30セット販売した。次年度はセット商品取り扱い場所を増やし、さらなる販売経路の確保を目指す予定である。 <p>2) 女性農業者リーダーの知識・技術習得支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性農業経営アドバイザーは新規に5名が認定され33名となった。また、高山市では「高山市女性農業経営アドバイザーの会」を設立した。地域活動の一つとして、食育に関しての知識を広く普及するために「女性農業者フォーラム」を企画・運営した。 ・高山めぐり☆ウィミンの会では、農業委員の女性登用に係る要望や依頼、農業委員傍聴と語る会を実施した。参加者からは、農業委員には農業者と行政との橋渡し役として行動してほしいと要望がでた。 ・女性農経営アドバイザーと女性農業委員の連携活動として、高山市では「税務管理・労務管理講座」「ライフプラン講座」「女性農業者講座」の企画・運営や農業委員内の「いきいき農村推進室」での家族経営協定や食育・後継者育成の推進を行った。丹生川町では年令別に「女性農業講座」を企画・運営し、国府町では町内女性農業者組織「くまで会」のあぶらえ栽培や家庭菜園講座、あぶらえ料理講習会の企画・運営の助言や支援を行った。
連携機関、協議会等	

取組の特徴や取組に際しての工夫	<ul style="list-style-type: none">・女性起業組織は、グループによる経営者意識に差が大きく、一律の指導は出来ない。そのため、各グループの経営状態を把握し、発展段階に応じた課題や目標設定が必要であった。・女性農業者が自ら企画・運営する機会は増えたが、まだ能力や知識を高める機会は少なく、行政などの支援が必要な部分が多い。しかし、一方的に講義や講習会を開催するのではなく、農業者自らが中心となって企画・運営することで、自分たちが本当に知りたい・聞きたい・知識を深めたいテーマにそって学習する場ができた。
【参考】	